

さあ、楽しい演劇の時間です

芝居を観に行こう！
そう思っても、なかなか機会が無いものです。地方都市ではプロの舞台公演はそう多くはありません。芝居を観るのには演劇鑑賞団体に入会するのが一番の近道だったりします。

ライブハウスではほとんど毎週アマチュアバンドのライブ演奏を聞くことが出来ますが、芝居の場合は、アマチュア演劇もそうそう上演されてはいません。大衆演劇の芝居小屋があったり、東京のように小さな劇場があちこちにあって、毎週末どこかで公演がある地方都市も確かにあります。が、八戸ではないです。でも今年の八戸は違います。はっちで開催される、はちのへ演劇祭があるからです。三週に渡って十数本の芝居が上演されます。これを見逃す手はありません。

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を脚色した本作品は、はっちシアター2で開催されるはちのへ演劇祭で上演されてこそ有効になる舞台で、つまり、その日その場所に同時に居合わせた人だけが体験できる貴重な演劇空間を作り出すことでしょう。

映画は映画でしか表現出来ない表現方法を追求するように、演劇も、演劇でなければ出来ないやり方や、演劇だからこそその手法を用いて舞台化する必要があります。その作業のことを演出という言い方をしますが、劇性を伴わない演出ですと批評性も当然生まれないわけですから、従って出来上がる舞台も劇的なものが生まれるわけがないのです。「銀河鉄道の夜へ」を演出するにあたって何よりもまずそのことを念頭に置いています。原作とは違いカムパネルラが死ぬことはなく、列車内を思わせる舞台装置はおろか椅子さえありません。けれども、ラッコの上着はしっかりとジョバンニの手もとに

届けられるのです。「銀河鉄道の夜」以外の宮沢賢治の詩や小説からの引用も多く、「銀河鉄道の夜」らしくないと叱られるかもしれません。どの「銀河鉄道の夜」よりも「銀河鉄道の夜」らしい「銀河鉄道の夜へ」だと思いますよ。

各回120名の定員ですので、チケットのお求めはお早めに。最後に、お願いします。昨年ははっちシアター2で開催された演劇トークイベントにおいて、一緒に芝居やるべし！と声をお掛けした方が、もしこの記事をお読みになつていましたら、はちのへ演劇祭実行委員会までご連絡をお願い出来ませんか。



【書き手Profile】平蔵健悦

1973年生まれ。八戸北高校在学中、演劇部が全国大会最優秀賞を受賞。大学時代には社会人～高校生をメンバーとしたアマチュア劇団を主宰し、スペースベンでも旅回り公演した経験を持つ。

Friday Amusement Negative Shop

FANS予定 (974~977回)

10月は、はちのへ演劇祭に向けた稽古場とします。見学をご希望の方は、事前にご連絡ください。 **入場無料**

join-fans-info.tujb@ml.freeml.comに空メールを送ると、公演情報案内のメーリングリストに登録できます。

演劇空間 スペースベン

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、土曜日は14時～
料金：一般前売400円/高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

八戸市柏崎1-11-8 TEL: 0178-43-9876 FAX: 050-3588-8350 携帯: 080-6025-0990
HP: http://spaceben.com/ Eメール: owner@spaceben.com

このステージへGO!!

ダンスバレエリセ豊島舞踊研究所 第56回発表会

【概要】 4つのプログラム、50を超える作品群で魅せます。

日時：10月7日(日)13:00 場所：八戸市公会堂 入場料：無料

伊奈かつぺい&おかしな仲間 in八戸

【概要】 幻のイベントが9年ぶりによみがえる。八戸会場からまた新しいドラマが生まれる—はず。

日時：10月4日(木)18:30 場所：八戸市公会堂 入場料：3,500円

はちのへ演劇祭 第1週 短編作品上演

【概要】 八戸の演劇シーンを支えてきた演劇人たちと、高校演劇部の皆さんや指導者の先生方、そして、新たに演劇に参加してみようという皆さんが、秋の3週間に、「地域の資源を大切に思い、新たな魅力を創造する」八戸ポータルミュージアムはっちという新しい舞台で、挑戦する演劇祭を開催します。

日時：10月23日(火)～28日(日)、23日(火)～26日(金) 19:30開演、27日(土)13:30・16:00・18:30開演、28日(日)13:30・16:30・18:45開演 場所：はっち2階シアター2 入場料：前売：一般1,000円、高校生以下500円/当日一般1,200円、高校生以下700円